

展開プロジェクト「スマートウェルネスを目指した団地再生の推進」

1. プロジェクトの概要

・高森台地区をモデルとして、高蔵寺ニュータウン全域でスマートウェルネス※を目指したまちづくりを推進

※スマートウェルネス：「健康かつ生きがいを持ち、安心安全で豊かな生活を営むこと」をまちづくりの中心に位置付け、住民が健康で元気に幸せに暮らせることを目指す都市モデルのこと。

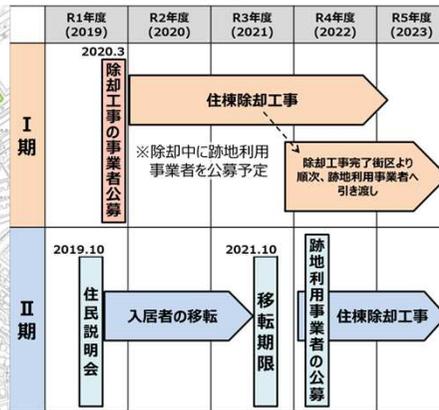


2. 【都市再生機構】団地再生事業の概要（高森台地区）

・事業箇所



・事業スケジュール（予定）



・都市再生機構の事業実施状況

R1.10 II期事業区域の住民へ説明会を実施

R2.1 I期3,6,7街区の除却工事の発注予定情報を公表（予定工期R2.4～R4.8）

3. 令和元年度の検討内容

(1) スマートウェルネスに関する検討

・スマートウェルネス推進に係る施策を体系的に整理

施策の7つの分類

スマートウェルネス施策の7つの分類	(A) 健康に対する望ましい生活を啓発する教育の充実	(B) 健康への貢献も視点に入れたまちの美的景観及び歩道や自転車道、及び公園整備の推進	(C) 健康への貢献も視点に入れた都市交通網及び商店街の整備
	(D) 夜でも歩ける治安の維持・強化	(E) 健康づくりの視点からも地産地消ができる農業等の推進	(F) 地域での健康づくりネットワークを支援する、先進的健康サービス産業の育成
		(G) 健康づくりの視点からの社会福祉	

施策の例（イメージ写真）



A: ウォーキングイベント B: コミュニティの場の利活用促進 G: いきがいの創出

・高森台エリアに関する検討（地域資源の調査、まちづくりの将来像、施策イメージ、歩行者ネットワーク等）

施策イメージ

高森山公園を中心とした健康スポーツの拠点

例
グラウンドを利用したヨガや太極拳、ウォーキング講座を実施し、健康で生きがいのある豊かな暮らしを目指す

自然と暮らす環境学習

例
小中学校の環境学習の場として隣接する緑の資源（高森山、少年自然の家、都市緑化植物園）を活用

歩行者空間の充実

例
周辺の緑道やUR敷地内の歩行者通路などの既存ストックを活かした歩きたくなる空間づくり

(2) 高森山公園未来プラン構想ワークショップ（8～10月ワークショップ実施、1月アンケート調査）

・ワークショップ参加者：総勢23名（大学生14名（3班編成）、高校生9名（2班編成））

・各班のプランに対し、アンケート調査を実施（実施場所：藤山台中学校、高蔵寺高等学校、中部大学、グルッポギャラリー（1/21～2/2））。いただいたご意見等を踏まえ、ワークショップ成果を取りまとめる。

＜ワークショップで見つけた現状と課題＞



劣化したコーラースケート場 散策路が鬱蒼として暗い

＜プラン（一例）＞

主なアイデア

- ◆施設の再配置
⇒テニスコートを移設
⇒テニスコート跡地を活用
- ◆駐車場の増設
- ◆高低差を活かした空間づくり



4. 令和2年度の検討内容（予定）

・高森山公園における住民主体の維持管理のあり方を検討するため、樹木を傷めない剪定方法などのノウハウを学ぶセミナーを開催